

こどもの国ニュース

- 2 「みどりのボランティア」募集中 牧場さんば
- 3 虫との思い出 いっぱいの夏 連載コラム「自然の扉 ひらけごま」
- 4 東日本大震災の被災者が来園 しぜんのことあれこれ

第560号 2016年10月号

発行 社会福祉法人こどもの国協会
〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700(☎045-961-2111)
編集・制作 (株)朝日新聞メディアプロダクション 印刷 (株)朝日プリンテック

こどもの国ニュースの用紙は
王子製紙株式会社のご提供によるものです



外で過ごすのに気持ちの良い季節です。牧場エリアでは10月にハロウィーンにちなんだイベントとアイスクリームの販売を行います。また、秋空の下での絵画コンテストも用意してみな

さまをお迎えます。15日(土)から31日(月)まで「ハロウィーンかぼちゃを探せ」を行います。目、鼻、口が描かれたかぼちゃを探して回るウォークラリーです。見つけたかぼちゃの数を画紙に書いてください。正解者の中から抽選で20人に、ポニー乗馬券や動物園券など牧場で使えるフリー券などをセットでプレゼントします。さらに10月1日(土)から牧場プラント売店では「トリック・オア・トリート ハロウィーン限定パンプキンアイス」を

400円で販売します。ぜひこの機会に味わってください。また、「芸術の秋は牧場で絵を描こう」を10月8日(土)から11月6日(日)まで開催します。こども動物園とポニー牧場、牛羊エリアの3カ所に画用紙を用意します。絵を描いたら応募箱に入れてください。画用紙がなくなるまで受け付けます。参加費は無料、雨天時は中止します。最優秀賞2人、優秀賞4人、努力賞6人を選びます。入賞者にはこどもの国招待券を同封し

た封書でお知らせします。再度お越しいただいた際に記念品を渡します。入賞作品は、11月下旬からこども動物園のそばで展示します。

お願い
こどもの国は、皇太子殿下(現天皇陛下)のご成婚記念事業として、全国から寄せられた国民のお祝い金を基金に、昭和40(1965)年に開園しました。以来、自然の中でこどもたちがのびやかに遊べる施設づくりと独自の遊びの場の提供に努めてきました。小紙は開園当初からこどもの国の活動や取り組みを紹介し、各地の教育委員会のご協力で、全国の小・中学校に広く配布していただいています。引き続き配布していただくよう、お力添えをお願い申し上げます。

教育長 各位
教育事務所長各位
社会福祉法人こどもの国協会

ハロウィーンかぼちゃを探しにおいで



●集まれフラフープ名人
プリキュアショーは9日(日)に行います。人間界と魔法界の

10日には「第1回フラフープマシ・ユイヤ杯フラフープ大会」を開催します。フラフープギネス記録保持者の山田祐也さんが大会の進行を行います。フラフープを回しながらいろいろな技に挑戦し最後まで回し続けられた人が優勝です。3位以上にメダルを授与します。大会前のフラフープ教室でコツを教わって優勝を目指しましょう。参加資格は小学生までです。3日間毎日行うイベントもあります。「自然スタンプピンゴ」は、自分で選んだ絵柄のスタン

●けん玉教室、フリマも
日本けん玉協会による「けん玉教室」は、無料でけん玉の等級を審査してもらえ、人気のイベントです。先生がコツを教えてください。こども服やおもちゃなどの品物が並ぶ「たんぼぼフリーマーケット」もあります。掘り出し物を見つけに来てください。



イベントが盛りだくさん
イワシ雲が流れる秋空のもと、恒例の「こどもの国秋まつり」(朝日新聞社後援)を10月8日(土)から10日(祝)の3日間、中央広場で開催します。テレビで人気の「魔法つかいプリキュア」キャラクターショーを楽しみ、フラフープ大会や自然スタンプピンゴなどに挑戦してみたいかがでしょう。

異なる二人の女の子が手をつないでプリキュアに変身し悪者を退治します。大きな声援を送ってください。

プを押しピンゴカードを作り、園内を散策しながらその絵柄の動物や植物、木の実などを採ります。スタンプは50種ほど用意しています。ゴールすると景品をプレゼントします。参加費は100円です。

最強の虎は俺かお前か

毎週土曜深夜2時45分放送

tv asahi 5ch digital

こどもの国 10月・11月の催し
☎045-961-2111

10月

- 1日回、2日回、15日回、16日回 軽スポーツであそぼう 10時～15時、中央広場。雨天中止。竹馬、フラフープ、なわとびなどの無料貸し出し。
- 1日回、8日回、15日回 あそびの広場 簡単な工作で遊ぶ。11時～15時、プール発券所前。雨天中止。
- 2日回 秋の虫さがしかんさつ会 10時30分、正面入口広場集合。雨天中止。
- <こどもの国秋まつり 8日～10日> 中央広場
- 9日回 キャラクターショー 11時30分、14時の2回。雨天時は皇太子記念館。無料。
- 10日回 第1回フープマン・ユーヤ杯フラフープ大会 雨天時は皇太子記念館。無料。詳細はHPで。
- 8日回、9日回、10日回 自然スタンプビンゴ 開園～14時30分、正面入口広場受け付け。参加費100円。雨天中止。
- 8日回、9日回、10日回 けん玉教室 日本けん玉協会の先生が指南。10時～15時。雨天中止。
- 8日回、9日回、10日回 たんぼぼフリーマーケット 9時30分～16時、中央広場。荒天中止。出店希望の方は「たんぼぼフリーマーケット」☎042・782・7684まで。
- 9日回、10日回 かざぐるまづくり 10時～15時。
- 10日回、23日回 紙芝居ライブ 11時、13時、15時の3回、児童センター。「心をつなぐ紙芝居の会」の森内直美さんらによる実演。
- 23日回 第35回こどもの国吹奏楽コンテスト 10時～16時、皇太子記念館。鑑賞自由。
- 23日回 青空コンサート 10時～15時、中央広場。鑑賞自由。雨天中止。
- 16日回 紙飛行機を飛ばそう 10時～14時、なかよし広場。輪ゴムで飛ばす紙飛行機を無料で町田紙飛行機倶楽部のスタッフが指導。雨天中止。
- 29日回、30日回 太鼓であそぼう「ドラムサークル」 11時、13時、15時、中央広場。アフリカ民族楽器の太鼓「ジャンベ」などを輪になって演奏。雨天時は皇太子記念館。
- 29日回、30日回 どうぶつマラカスをつくろう 10時～15時、中央広場。手づくりマラカスを作って太鼓遊びに参加しよう。雨天中止。
- 29日回、30日回 家族でサツマイモ掘り 10時30分、13時の2回、定員各回30組、児童センター奥の畑。参加費1組700円。小雨決行。応募は往復ハガキで10月7日迄必着。詳細はHPで。

11月

- 3日回～12月4日回 秋のフォトコンテスト 園内で撮影した家族など人物と風景が一緒に写った写真を募集。詳細はHPで。
- 3日回 太鼓であそぼう「ドラムサークル」 10月と同じ。
- 3日回 どうぶつマラカスをつくろう 10月と同じ。
- 3日回、6日回、26日回、27日回 たんぼぼフリーマーケット 10月と同じ。
- 5日回、6日回 牧場まつり 10時～15時、こども遊牧場。羊レース、早搾り競争、大声コンテスト、工作教室、ヘイクープ積み重さ当て、四本足借り物競争など盛りだくさん。
- 5日回、6日回 軽スポーツであそぼう 10月と同じ。
- 5日回、6日回、12日回 第35回こどもの国サッカー大会 近隣のサッカー協会推薦の42チームが参加。9時40分～16時、少年サッカー場、総合グラウンド。雨天予備日13日回。観戦自由。
- 5日回、12日回、19日回 あそびの広場 10月と同じ。
- 6日回 フープマン・ユーヤのフラフープ教室 13時～15時、中央広場。ギネス記録保持者のフープマンから技を直伝する。雨天中止。
- 12日回、13日回、19日回、20日回 自然スタンプビンゴ 10月と同じ。
- 19日回、20日回、23日回 野外でバウムクーヘンをつくろう 12時45分集合、定員各日160人、中央広場。参加費1人300円。雨天皇太子記念館。応募は往復ハガキで11月4日迄必着。詳細はHPで。
- 20日回 紙飛行機を飛ばそう 10月と同じ。
- 20日回 紙芝居ライブ 10月と同じ。
- 26日回、27日回 こどもまつり 10時～15時、中央広場。いっしょにつくろう「こどものまち」。こども劇場、かざぐるま工作、焚き火広場、落ち葉のプール、食べもの屋台、フリーマーケットなど。こどもの国になじみの企業、団体のPRブースも。
- ◇児童センター工作教室 開始時間は10時30分、13時、14時の3部制。定員は各部15人。記載無しは参加費300円▽10月9日回、10日回なわとび作り▽22日回、23日回、30日回ビー玉万華鏡▽11月3日回、5日回、6日回ヒツジをつくろう▽20日回スノードーム(400円)
- ◆わくわく焼き物体験 開始時間は午前の部10時30分、午後の部13時30分、児童センター。定員は各部20人、参加費800円。仕上がりは約2ヵ月後。開園より児童センターで受け付け。▽10月2日回手ロクロお皿。小学校高学年向け▽16日回手形プレート▽11月13日回たたら作りのカップ。小学校高学年向け
- こどもの国牧場の催し ☎045・962・0511
- ◇バターづくり教室/日曜 13時、ミルクプラント2階。開園と同時にミルクプラント売店で受け付け。先着12組、参加費1組500円。
- ◇チーズづくり教室/日曜 14時、ミルクプラント2階。開園と同時にミルクプラント売店で受け付け。先着8組、参加費1組500円。
- ◇乳搾り体験/土曜、日曜、祝日 11時、牧場牛舎前。開園より牧場エサ売り場で整理券配布。先着50人(4歳以上対象)、参加無料。雨天中止。

「みどりのボランティア」募集します

「椿の森」管理やイベント運営も

ツバキなどの植物を育てたり、子どもたちに作物を収穫してもらおうイベントを担う「みどりのボランティア」を募集しています。高校生以上が対象ですが、現在は70歳前後のシニア世代を中心に約50人が登録、活動してください。ぜひ仲間に加わってください。

活動日は、日曜、火曜、木曜のうち月9回程度です。活動時間は午前9時30分から午後3時までで、交通費は2千円を上限に実費を支給します。

ご希望の方は、こどもの国業務部(☎045・961・2111)まで電話でお問い合わせ、お申し込みください。

主な作業のひとつに「椿の森」の管理があります。1万5000平方メートルの敷地に植えられているツバキ、サザンカなど約600種類、約6千本の剪定や下草刈り、散策路の整備などを行います。椿の森は安達式挿花の初代家元、安達潮花氏が収集したものを、資生堂が創業100周年記念事業で購入してこどもの国に寄贈、1972年にオープンしました。

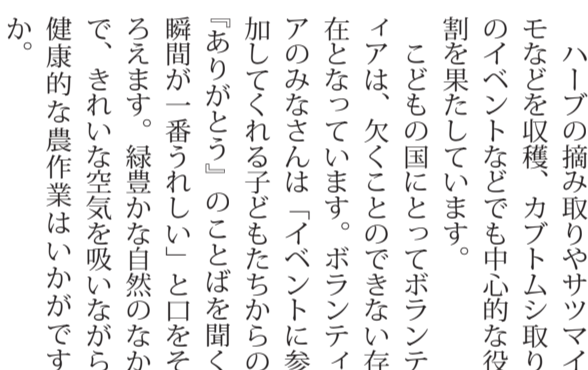
椿の森に隣接する「ボランティア畑」での作業も柱のひとつです。季節に応じてジャガイモや枝豆、サツマイモなどを育てます。畑の一角にあるハーブ園ではラベンダーやオレガノなどの栽培も行います。

このほか、中央広場の脇にある「バラ園」の手入れなどの作業もあります。

イベントの運営も担います。毎年3月に開催する「ツバキまつり」では、ボランティアが中心になってツバキの展示や栽培相談、ツバキの花のコサージュ工作などを行います。

ハーブの摘み取りやサツマイモなどを収穫、カブトムシ取りのイベントなどでも中心的な役割を果たしています。

こどもの国にとってボランティアは、欠くことのできない存在となっています。ボランティアのみなさんは「イベントに参加してくれる子どもたちからの『ありがとう』のこぼれを聞く瞬間が一番うれしい」と口をそろえます。緑豊かな自然のなかで、きれいな空気を吸いながら健康的な農作業はいかがですか。



鳥たちの気ままな生活の場

バードケージの楽しみ方

牧場さんぽ

こどもどうぶつえんの「バードケージ」は大人気スポットのひとつです。セキセイインコやオシドリなど9種類、300羽以上の鳥たちが自由気ままに生活しています。今回はバードケージのちよつとした楽しみ方をご紹介します。

出入り口は、鳥たちが外に飛んで行かないように二重扉になっています。

左手には、エサが入っているエサ小屋が四つ置かれています。バードケージ内には全部で九つあり、三方所にかけて設置しています。力の強い鳥や大きな鳥が全部食べてしまうのを防ぐためです。

また、セキセイインコ用は地面より高い所に、ヒメウズラ用は地面に置き、小さい隙間のあ

り口からさらに奥に進むと、今年5月に出来たばかりの「インコマンション」があります。穴が小さいセキセイインコ用の巣箱を4列3段に組み、これを六つ並べてより多くのセキセイインコが使うことができます。

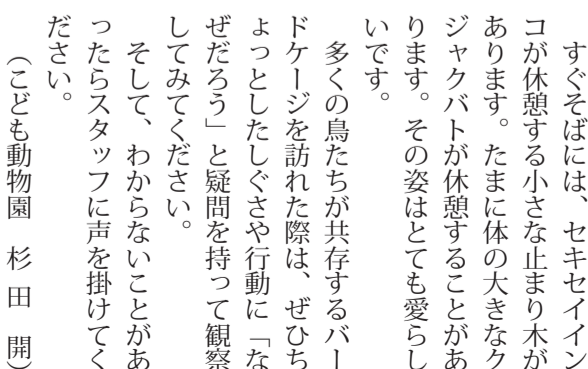
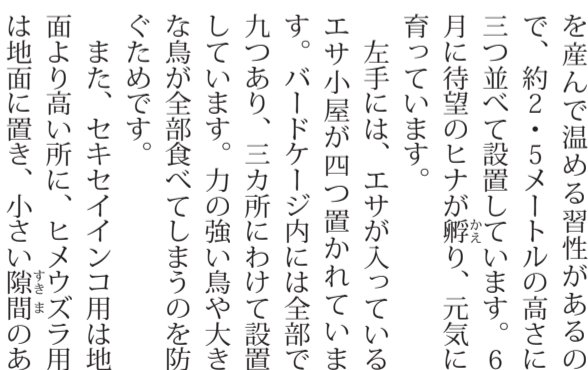
みなさんの家と同じように、鳥たちにとって巣箱は産卵や子育てをしたり、風や雨、寒さを防ぐ大切な場所です。

すぐそばには、セキセイインコが休憩する小さな止まり木があります。たまに体の大きなクジャクバトが休憩することがあります。その姿はとっても愛らしいです。

多くの鳥たちが共存するバードケージを訪れた際は、ぜひちよつとしたしぐさや行動に「なぜだろう」と疑問を持って観察してみてください。

そして、わからないことがあったらスタッフに声を掛けてください。

(こども動物園 杉田 開)



各地のこどもの国 10月・11月の催し

(詳しくは各園ウェブページを参照)

- 北海道子どもの国(砂川市) ☎0125・53・3319**
11月13日 「ふしぎの森」今季営業最終日(屋外の公園施設は来年4月下旬まで冬季閉鎖)▽19日 屋内遊具広場営業開始(来年4月9日まで)
- 霊山(虻)こどもの村(福島県伊達市) ☎024・589・2211**
10月2日 「つくってつるそう!〜秋の実オーナメントと紅葉のガーランド〜」▽8日 空想花研究所(くそうかけんきゅうじょ)、スペシャルトーク「本から薫る、芳醇な食へのトビラ」▽9日 「めばえバッグをつくろう!」▽10月8日〜12月15日 「りょうぜん絵本カーニバル2016」開催▽11月3日「クラフトカーニバル」開催
- 千葉こどもの国「キッズダム」(市原市) ☎0436・74・3174**
10月2日 フリスビー投げ競争▽10日 しっぽ取り競争▽16日 太公望で赤色の鯉を釣り上げろ▽23日 炭火でサンマを焼いて食べよう!▽11月3日 チャンバラ大合戦▽13日 ボールプール宝探し▽20日 ダンボールキャタピラ競走▽23日 ドラム缶でピザを焼いて食べよう▽27日 ゴーカートに乗ってチツパくんを探せ!
- 愛宕山こどもの国(甲府市) ☎055・253・5933**
10月8日、9日 あたごやま秋まつり▽15日、16日 防災キャンプ〜仮想避難所での居住地づくりおよび宿泊、救命救急講座など〜
- 富士山こどもの国(静岡県富士市) ☎0545・22・5555**
10月1日〜11月上旬 すずきの迷路▽10月1日〜11月6日 ニジマスの釣り体験・塩焼き体験▽毎日開催 パークゴルフ、ディスクゴルフ、カヌー体験(荒天時中止)
- 愛知こどもの国(西尾市) ☎0563・62・4151**
10月1日〜11月30日 しんぶんしりとり、せいくらべ▽10月1日 第3回愛知こどもの国大学だいがく祭2、マンガ「ニシオノ」声優代永翼トークステージ▽15日、16日 かがくあそび⑦巨大しゃぼん玉をつくろう▽16日 体験の風をおこそう▽22日、23日 第3回愛知こどもの国大学だいがく祭3「マープルタウン Vol. 2」▽29日、30日 しぜんあそび④「木の実あそび」、ぼうけんあそび④「自然素材で森の動物をつくろう」▽11月5日 あーとのえいと③ 汽車を描こう!▽5日、6日 こども汽車B12復活祭▽19日、20日 かがくあそび⑧音痴なオルゴール▽23日 つみきフェスティバル講演会▽23日、26日、27日 クリスマスオーナメント▽26日、27日 落ち葉あそびにんじやラン▽27日 にぎやか図書館④、人形劇
- 岐阜県こどもの国(養老町) ☎0584・32・0501**
10月9日 季節のイベント「ハロウィンのハッピーキャンダルをつくろう!」▽9日、11月5日 お話の日▽15日 手品・腹話術をみよう▽23日 ハロウィンの3D立体カードをつくろう!▽11月5日 ゆびきやらハウス▽13日 ひょうたんワークショップ▽26日 季節のイベント「養老茶房孝行庵」
- びわ湖こどもの国(滋賀県高島市) ☎0740・34・1392**
10月1日 木で動物や虫を作ろう、稲刈り体験▽2日 なまずんピック▽8〜10日 どんぐりフェスタ〜働く車大集合〜▽8日 ゆらゆらおもちゃ作り▽9日 木の実の工作広場▽10日 竹工作広場▽15日 はじめての魚つり▽16日 びわ湖1周オレンジリボンたすきりレーイベント▽22日 木の実de作ろう▽23日 まきまきミニウインナーパン作り▽29日 ハロウィンの衣装作り▽30日 などときハロウィン〜怪盗パンキン逆襲〜
- 鳥取砂丘こどもの国(鳥取市) ☎0857・24・2811**
10月2日 親子ふれあいマラソン大会▽8日 大道芸人ひろとジャグリングショー▽10日 秋のわんぱく運動会▽16日 植菌体験「キノコを植えよう!」▽11月5日 「栗コーダー&ビューティフルハミングバード」コンサート▽6日 収穫祭「いも掘り」▽19日 くるくるスネークパンを焼こう!▽23日 みみずく影絵劇団ステージ
- 沖縄こどもの国(沖縄市) ☎098・933・4190**
10月10日 沖縄こどもの国大運動会▽30日 ハロウィンカーニバル2016

虫との思い出 いっぱいの夏



セミとり競争「名人」続々 ■ぬけがら千個収集 ■夜のイベントも

この夏、みなさんは思い出がいっぱいできましたか? セミの鳴き声にぎやかだったこどもの国では、子どもたちがセミを捕まえたり、抜け殻を集めて調査したり、生態を学んだりして夏休みを満喫しました。

8月11日(祝)から14日(日)、21日(日)、28日(日)の6日間、セミとり競争をしてチャンピオンを決める「目指せ!セミとり名人」を初めて開催しました。

子どもたちが園内で捕まえてきたセミを、スタッフが1匹ずつ種類を確認し、それに応じたポイントカードを贈呈しました。

ポイントはアブラゼミが1点、ニイニゼミが3点、ミンミンゼミが4点などで、最高点は21日に参加した「こうた君」の68点でした。

また、「セミのぬけがら調査」を8月11日から14日まで開催しました。子どもたち40人が参加し、園内で抜け殻を集めました。スタッフから種類とオスメスの見分け方を教えてもらい、さっそく分類しました。全部で1010個が集まり、内訳はアブラゼミ811個、ミンミンゼミ62個、ツクツクボウシ60個、ニイニゼミ53個、ヒゲラ

シ24個でアブラゼミが全体の8割を占めました。

調査はこどもの国の自然環境の変化を探る貴重な定点観察で、12回目になりました。

園内で鳴き声を確認した6種類のセミのうちクマゼミの抜け殻は、これまで見つかっておらず、今回も発見できていませんでした。

また参加した家族は、調査で確認した5種類のセミの抜け殻を小箱に入れて持ち帰りました。

このほか、7月31日(日)と8月7日(日)には「昆虫教室」を開き、講師から昆虫の生態について学び、カブトムシやウチワヤンマなどを虫メガネで観察しました。

唯一の夜のイベント「セミの羽化とカラスウリの花かんざしつ会」が両日ともに開催されました。参加した家族やグループは、夜だけ咲く白くかんなな花カラスウリと羽化するセミの様子を、懐中電灯で照らしながら食い入るように観察しました。



秋から冬に掛けて、草むら歩きとズボンや靴下にたくきまの虫のようなものがくつきます。よく見ると虫ではありません。ついでに「ひつつき虫」と呼ばれる植物の実や種です。

ひつつき虫の巧みな作戦

動物の体毛や人間の服にくつきついて遠くへ運んでもらおうとする種の総称です。日本には30種類以上あります。細かな鉤かきがあるタイプ、フックのような針のタイプ、針に鉤状のものがあるタイプ、粘液を出すタイプ、ペンに付いている



るクリップを逆にしたようなトゲがあるタイプ、と大きく五つの形に分けることができます。子どもの頃に遊んだ覚えがある人も多い、日本に元来あったオナモミは、外来種のオオオナモミが増えたため、今では絶滅危惧種に指定されています。両者ともトゲがついているのですが、外来種のほうがやや大きく、トゲの数も多いです。

普通洗濯機にかければ取れるものもあり、取るのに一苦労するものもあります。その場合には、軍手などでこすって軍手につけ、後で丁寧にとってみてください。

「ひつつき虫」がついた時には、遠くへ運んでもらうための巧みな工夫を観察してみてください。(プロ・ナチュラリスト) 石井 碧

たっぷり使える!大容量100カット



nepia キッチンタオル100 激吸収



福島の子 青空の下でのびのびと

東日本大震災の被災者来園



東日本大震災で被災した福島県の中学生以下の子ども28人と家族の計44人が7月28日(木)に来園。自然研修センターに2泊しました。屋外プールで泳いだり遊具で遊んだりしてのびのびと過ごしました。

市民団体「福島の子どもたち」とともに「福島の会」(神奈川県藤沢市)が、放射能の影響で外遊びができない中学生以下の子どもたちを青空の下で思い切り遊ばせようという計画。こどもの国が協力しました。2012年夏から夏夏年2回開催してきた企画「ふくしまっ子リフレッシュ」です。こどもの国で、今年で9回目になります。

参加者「あと100ぐらいいたい」

「震災から5年が経つのもなお、この企画のような形で遊ぶ機会を求めている状況に変わりはありません。まだまだ子どもたちは外遊びをためらっています。保護者はその状況に少なからずストレスを感じています。これからも企画を続けていきたいと話し合いました。こどもの国では被災地の方の入園料を無料にしています。団体の場合はプール入場料(冬はスケート入場料)、宿泊代も無料です。



「親子の写真教室」(キヤノンマーケティングジャパン協賛)を11月13日(日)、皇太子記念館キヤロリーで開きます。参加希望の親子15組45人を募集します。親子3人までで、子どもは小学生が対象です。参加費は無料ですが、入園料は別途必要です。朝日新聞社写真部OBらから講師の使い方や写真の撮り方を指導。その後、園内で約1時間

「親子の写真教室」参加者募集します

の写真撮影実習を行い、うまく撮れたと思う一枚を参加者を選んでもらい、講師が講評します。親子1組にキヤノン製一眼レフカメラ1台を貸し出します。フリンターで見たとほりに撮れる「一眼レフ」ならではの迫力ある写真の撮影を体験して下さい。撮影した写真を取ったSDカードと講師に使った写真は、当日プレゼントします。参加希望の方は、往復はがきの往信側に代表者の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、人数を、返信用の宛名に返信先の住所、氏名を記入して、こどもの国「親子写真教室」までお申し込みください。10月25日(火)必着です。応募多数の場合は抽選とします。

しぜんのこと あれこれ

木の実拾い 集める楽しさ しかけ2種類

こどもの国でいろんな木の実を見てみたい人のために「あつ木(秋)の実ビンゴ」(100円)と「秋の自然つめあわせ」(200円)を今秋もご用意しました。



前者は実物大の画像を掲載し、後者は9マスに仕切られた箱の中に拾った木の実などを入れるられるようになっています。「かわわしたもの」「ツルツルしたもの」などマスに入れるものがあらかじめ指定されているものと、自分で好きなものを入れてその名前をマスに書き入れるもの2種類があります。集めて楽しい「木の実ガイド付き」です。

木の実拾いは楽しいものですが、いつまでもその楽しさが続ければいいように、ひとつ拾ったら次のひとつはそれを食べる森の生き物たちのために、次のひとつはたくさんの実をつける新しい木になるために、次のひとつは木の実を拾うことを楽しみにしている別のお友達ののために、残しておきましょう。

(催事広報課 宮下 健一)

こどもの国 〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
☎045-961-2111 Fax045-962-1366
http://www.kodomonokuni.org

開園時間 9時30分～16時30分(7月、8月は17時まで)
入園は15時30分まで(7月、8月は16時まで)

休園日 毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は開園します)、12月31日、1月1日

交通 東急田園都市線・京横濱線「長津田駅」でこどもの国線に乗り換え7分。「こどもの国駅」下車。こどもの国線由奈良北団地「行き小田急バス10分、こどもの国」下車

入園料	団体		回数券 11枚づつ (6カ月有効)	年間パスポート	
	30人以上	300人以上		年間利用券	ウィークデイス
おとな	600円	480円	6,000円	10,000円	3,000円
高校生	600円	360円			
中学生	200円	160円	2,000円	5,000円	1,000円
小学生	200円	120円	1,000円	4,000円	500円
幼児※	100円	80円			

○平日シルバー割引 65歳以上の方の平日(土曜・日曜・国民の祝日・休日以外の日)の入園料は300円。入園券売り場で身分証明書など、ご本人の年齢が確認できるものを提示して、「平日シルバー券」をご購入ください。

○障害者手帳・療育手帳・小児慢性特定疾患手帳・精神障害者保健福祉手帳などをお持ちの方は本人と付き添い1人が半額になります。入園券売り場で手帳をご提示ください。※幼児は3歳以上です。0-2歳は無料。

駐車場 (1700台収容)	普通車	マイクロバス	大型バス
駐車料 (1日1回の料金)	900円	1,100円	1,600円

○土・日・祝日は駐車場と周辺道路が大変混雑します。電車・バスのご利用をお願いします。

■雪日こどもの国牧場 〒227-0036 横浜市青葉区奈良町 700
(雪日こどもの国牧場は、こどもの国の園内にある施設です)
ご案内 ☎045-962-0511 Fax045-962-0512
http://www.kodomonokuni-bokujyo.co.jp

月刊 1からわかるニュースマガジン juniorAERA

ジュニアエラ

毎月15日発売 ●定価490円(税込) A4判カラー100ページ 定期購読受付中!

ジュニアエラなら、政治も経済も国際問題も気になるニュースがよくわかる! 大人も知りたい基礎知識が満載。

ジュニアエラは私立中学校の入試問題や学校・学習塾の教材にも使われています。

親子で読める! 受験勉強にもお役立ち!

職業インタビュー、ものづくりの現場、イラスト、本の紹介など、楽しくハイクォリティな記事を展開。

●政治、経済から科学、文化、スポーツまで。毎日のニュースをジュニア向けにわかりやすく解説。
●教科書では学べない新鮮なニュースと深い分析で、中学・高校受験の社会・理科系科目にも対応。

ASAHIPUBLISHING

宅配専用商品 初の機能性表示食品

ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす

雷印メグミルク

ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす

ガセリ菌SP株が内臓脂肪を減らす

宅配に関するお問い合わせ先

0120-758-369